APOS 診断 BOX　GUI ソフトウェアマニュアル

EN(JP) | V1.01 | DCL 484

1　ドキュメント履歴

文書番号	バージョン	発行日	内容／変更
MN37-042026	1.01	2026/4/1	初版

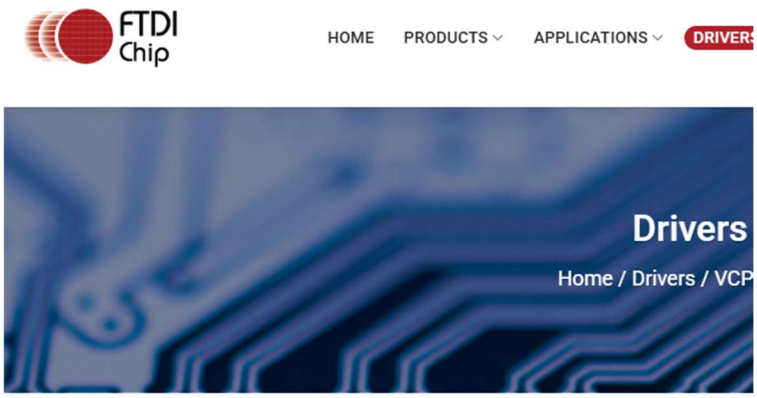
・本ソフトウェアの使用により発生した損害について、法令で認められる範囲において、弊社は責任を負わないものとします。

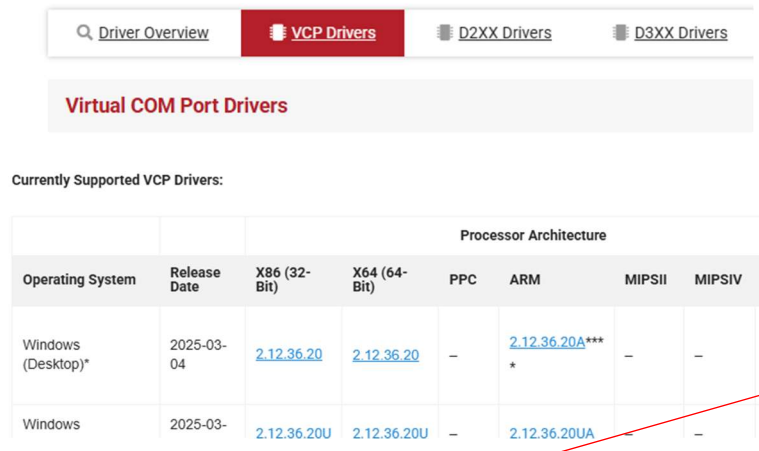
・本ソフトウェアの使用にあたっては、内容をご確認のうえ適切にご利用ください。

・本ソフトウェアは APOS 診断 BOX による APOS 読取ヘッドへの試験・検査・パラメータ設定を目的としたツールです。目的外の用途での使用はお控えください。

2　ダウンロードおよびインストール

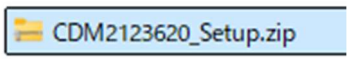
本ソフトウェアツールは、弊社製品の設定・診断用途に限り無償で提供されています。
このソフトウェアは、Windows10 以降を搭載し、4GB 以上のメモリと 100MB 以上の空き容量を有する Windows PC 向けに設計されています。
右記の URL からダウンロード可能です。 https://link.vahle.de/doc-APOS-service-tool-lite
Vahle_APOS_Service_Tool_Lite.zip をダウンロード後、任意のフォルダに解凍し、生成された「VAMAX GUI v1.3b9_LITE」ディレクトリに移動してください。
VAMAX GUI はインストール不要です。解凍した EXE ファイルをプログラムディレクトリから直接起動できます。
正常に動作させるためには、Windows 用の最新 FTDI VCP（仮想 COM ポート）ドライバをインストールする必要があります。
https://ftdichip.com/drivers/vcp-drivers/ より、VCP ドライバをダウンロードしてください。



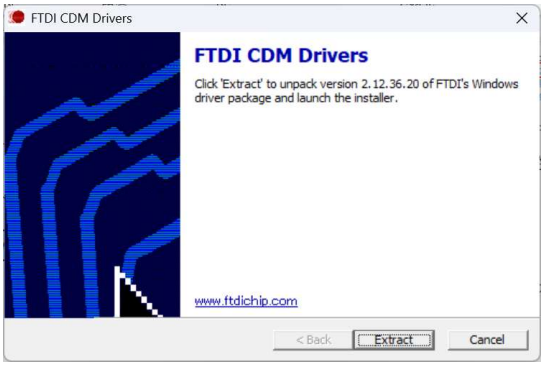


ここをクリックしてドライバのインストーラーをダウンロードしてください。

ダウンロードしたファイルをダブルクリック。



表示される CDMxxxxxxx_Setup.exe をダブルクリックし、ドライバインストールを実行。



上図画面で Extract をクリック



上図画面で次へをクリック



上図画面で「同意します」をマークし、次へをクリック



完了すれば、上図の画面が表れるので、確認後、完了をクリック

3　接続

3.1 機器の接続

1. 診断 BOX を USB ケーブルで PC に接続
2. APOS 読取ヘッドを M12 ソケットに接続
3. 診断 BOX に電源を供給（AC アダプタに接続）
4. 診断 BOX 上のトグルスイッチをオンにする（「｜」に倒す）

3.2 APOS 読取ヘッドをサービスツールに接続

1. 実行ファイル「VAMAX GUI v1.3b9_LITE.exe」を起動します。
2. Windows にて警告画面が出た場合は、発行元やファイルの入手元を確認したうえで、「詳細情報」→「実行」を選択します。
3. 「search」ボタンをクリックして COM ポートを検索します。
（複数の FTDI 仮想 COM ポート使用製品が PC に接続されている場合、選択に失敗することがあります。その際はデバイスマネージャーで正しいポートを確認し、「Com port」欄で手動設定してください。）
4. 必要に応じ仮想 COM ポートの通信速度を設定します（デフォルト：115200 ／ 通常は変更不要）。
5. 「Connect」ボタンをクリックして診断 BOX との接続を確立します。

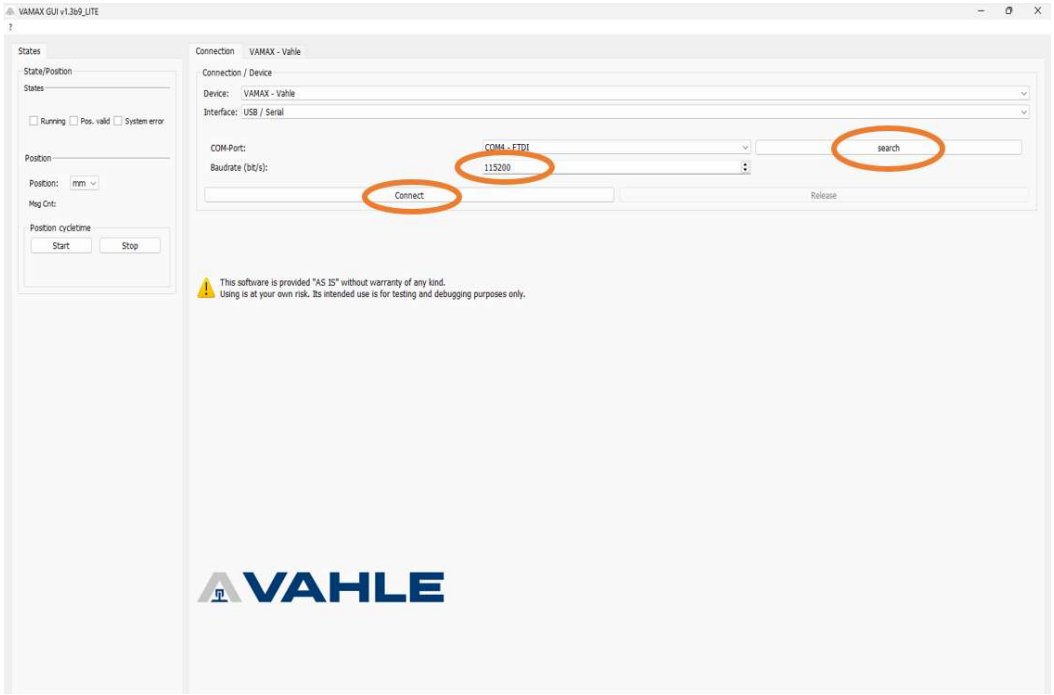


図 3-1 APOS 読取ヘッドとの接続

4 ソフトウェア概要

4.1 「States / Position」タブ

APOS 読取ヘッド接続後、「Start」ボタンをクリックすると現在位置が表示されます。
「Running」欄が緑色に変わり、位置がリアルタイムで表示されます。

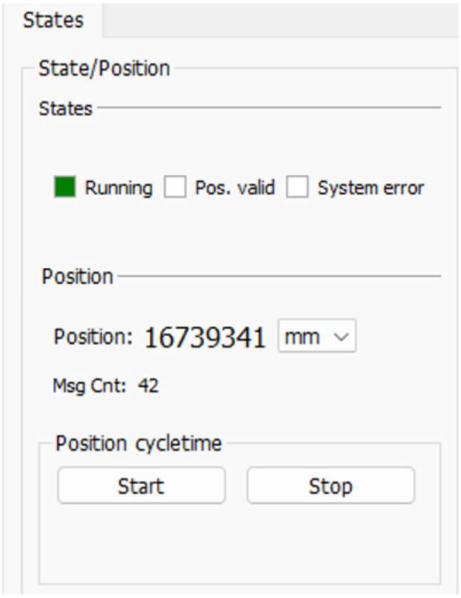


図 4-1 読取値無効時

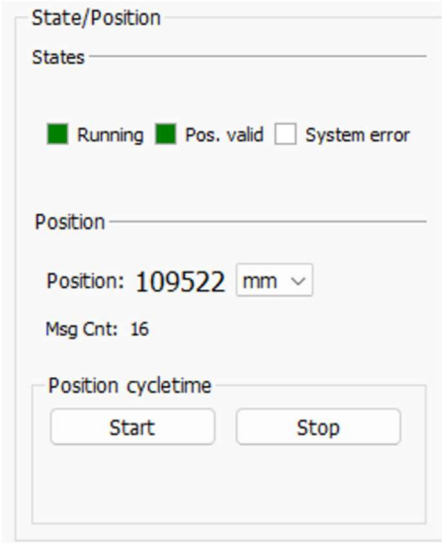


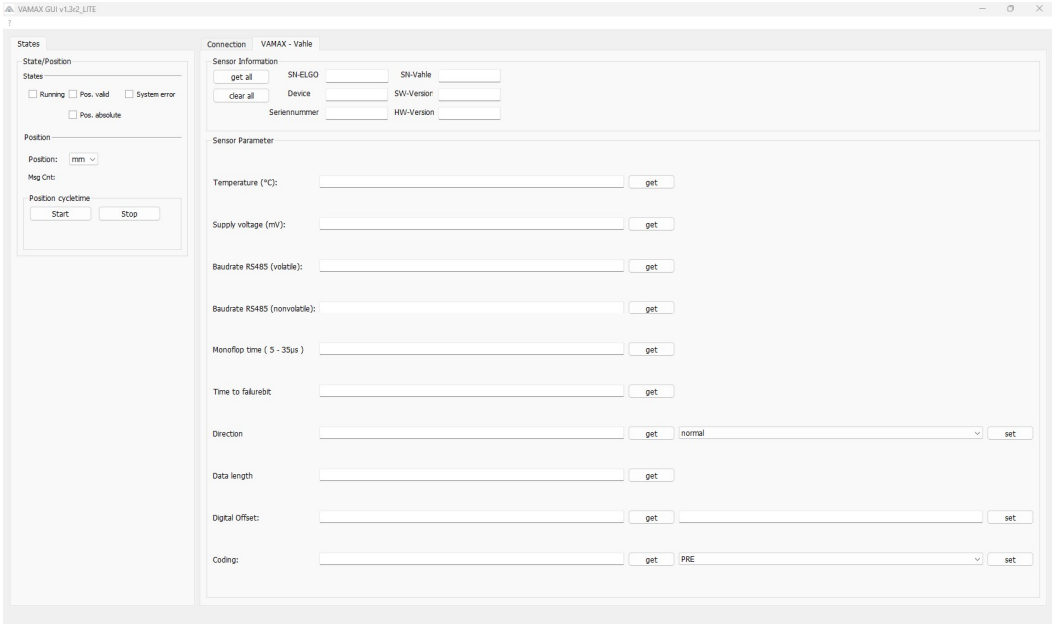
図 4-2 読取値有効時

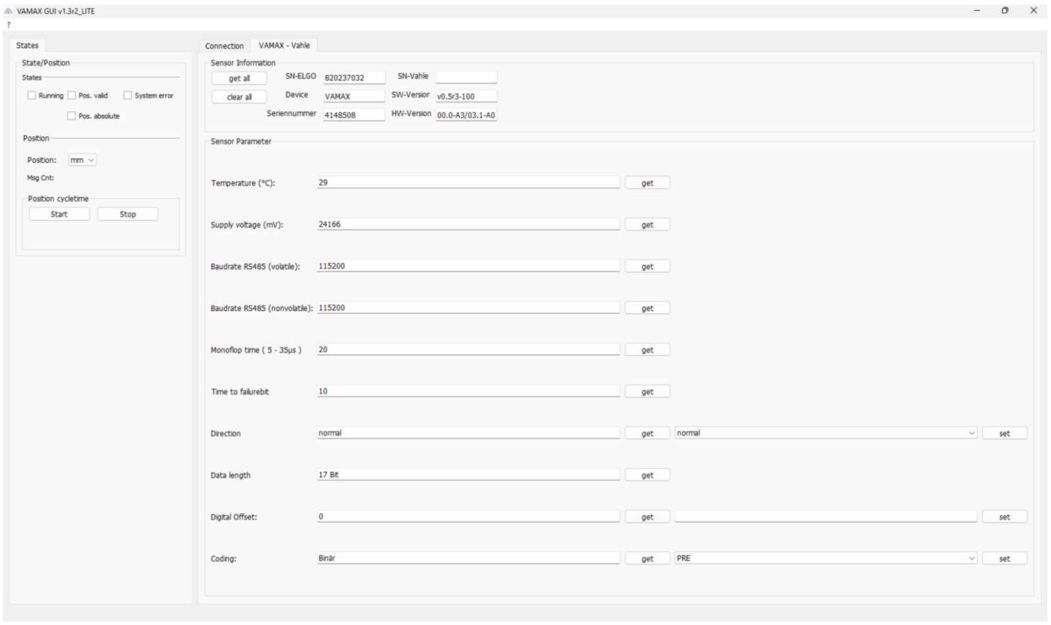
コードバンドが存在しない場合、「Pos. Valid」欄は緑点灯しません。

4.2　VAMAX – Vahle タブ

4.2.1 値の読み取り

「VAMAX – Vahle」タブに切り替えると、下図のような画面が表示されます。





「get」ボタンを押して個別のパラメータを、「get all」ボタンで全てのパラメータを読取・表示できます。
これら操作により 17bit APOS 読取ヘッドの代表的なパラメータが表示されます。
APOS 読取ヘッドが「Running 状態」(4.1 項参照)の場合、パラメータ情報は読み取れません。
本画面では、読み取り方向、コード方式の変更、および位置補正用のオフセット入力が可能です。

パラメータを変更すると、リーディングヘッドの動作が変化します。誤った設定により、正常に動作しない場合があります。変更前に現在値を記録し、必要に応じて復元できるようにしてください。
修理返却や再注文時には、標準設定で納品されます。
新規または修理済みリーディングヘッドを設置する前に、お客様のシステム構成に応じた設定を行ってください。

4.3 センサー接続の解除

・「Connection」タブに切り替え
・「Release」ボタンで接続を解除
・診断 BOX のトグルスイッチをオフにする（「〇」に倒す）
・診断 BOX から AC アダプタを取り外す
・診断 BOX から APOS 読取ヘッドを取り外す

極東貿易株式会社
大阪支店　ファーレ室
〒541-0046
大阪市中央区平野町 1-7-6
エストビル 4F
TEL：06 6227 1117
FAX：06 6227 1118

文書番号：MN037-042026